

様式第2号(第3条関係)

令和7年7月1日

竹富町議会議員

上 勢 頭 巧 殿

竹 富 町 長
(公 印 省 略)

政務活動費交付決定通知書

竹富町議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、下記のとおり政務活動費の交付を決定したので通知します。

記

1 交付決定額 金 270,000 円

令和7年10月10日

竹富町議会議長 殿

竹富町議会議員 上勢頭 巧

政務活動費収支報告書

竹富町議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定により、政務活動費に係る収支について、下記のとおり報告します。

記

- 1 政務活動費の額 金 14,740 円
- 2 政務活動の期間 第2四半期（7月から9月）
- 3 政務活動費の対象となる経費の内訳

項 目	金 額 (単位:円)	備 考
調査研究費	14,740	交通費、宿泊費、通信費
研 修 費		
広 報 費		45,740 79,000
広 聴 費		①② ③④⑤ ↓ 1/2
要請・陳情活動費		44,500
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費		
人 件 費		
事務所費		
合 計	14,740	受領済額 0 円 累計 10,240 円

①

領 収 証

上勢頭巧

様

No. _____

★

7740-

但

乗船券代

2025 年 9 月 25 日 上記正に領収いたしました

内訳	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等
	税率	金額(税抜・税込)
	%	消費税額等

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

登録番号 T4360005003669

特定非営利活動法人たき

TEL 0980-84-5633

〒907-1101

沖縄県八重山郡竹富町字竹富

②

領 収 書

No. 00039298-00

2025/09/25

登録番号: T7360001017100

クロスウィンド株式会社

上勢頭巧

様

金 額	¥ 5,000 -
-----	-----------

内訳
10%税込 対象合計

5,000 内消費税 454

但し、ご宿泊料金

9/25~1泊

として、

上記金額正に領収いたしました。

スーパーホテル石垣

〒907-0023 沖縄県石垣市石垣

TEL:0980-83-9000

<http://www.superhotel.co.jp>



請求書

2025年7月6日



ChatGPT

ChatGPT Plus (月額)
更新日: 2025年8月5日
uesedo

¥3,000

JCT (10%) を含む ¥273

請求とお支払い



小計

¥2,727

JCT (10%) 課税

¥273

上勢頭巧様





④

請求書

2025年8月4日



ChatGPT

ChatGPT Plus (月額)

更新日：2025年9月5日

uesedo

¥3,000

JCT (10%) を含む ¥273

請求とお支払い



小計

¥2,727

JCT (10%) 課税

¥273

上勢頭巧様





⑤

請求書

2025年9月4日



ChatGPT

ChatGPT Plus (月額)

更新日: 2025年10月5日

uesedo

¥3,000

JCT (10%) を含む ¥273

請求とお支払い



小計

¥2,727

JCT (10%) 課税

¥273

上勢頭巧様



政務活動報告書

セミナー受講

「SDGsで考える石垣島の価値と未来～経済効果と自然の価値～」

日時：令和7年9月25日

場所：石垣市市民会館

参加者：上勢頭巧

1. 参加目的

経済発展と自然環境保全の両立は、竹富町においても喫緊の課題である。特に石西礁湖をはじめとした自然資本をどのように評価・活用するかは、今後の政策判断に直結する。本セミナーに参加し、学術的視点や地域実践の知見を得ることを目的とした。

2. 基調講演（京都大学 浅野耕太教授）

- ・ 経済効果試算は専門的な評価手法ではなく、公共事業の正当化に使われやすいが誤解を招く。
- ・ 重要なのは「売上」ではなく、付加価値（営業余剰や雇用者所得）が地域にどれだけ残るか。
- ・ 判断は「費用便益ルール（便益-費用）」に基づくべきであり、便益が自然の価値を超えるかどうかが本質。
- ・ 自然の価値は数値化が難しいが、「観光客の旅行費用総額」との比較など、人間の行動から推計可能との示唆。

3. 他講師の講演

(1) 下河原忠道氏

- ・ 「古いものを活かすことは、対話と継承の意味を持つ」と強調。
- ・ 小規模・地域主導モデルによる利益循環の必要性を指摘。

(2) 花谷まゆ氏（コラコラ認証代表）

- ・ 「コラコラ認証」の取り組みを紹介。
- ・ 背景として、八重山諸島のサンゴ礁生態系の急激な衰退を説明。地球温暖化による海水温上昇に加え、赤土流出や生活排水など陸域からの影響が大きいことを指摘。
- ・ 陸と海をつなぐ視点から、食・農・宿泊・観光事業者が連携し、サンゴ礁を守るローカル認証の仕組みを開始。
- ・ 「coral（サンゴ）」と「collaboration（協働）」を組み合わせた「コラコラ」という名称の由来を紹介。
- ・ 認証事業を通じて、サンゴ礁保全だけでなく、環境教育・地域経済の活性化・人間関係の再構築にもつながると説明。

(3) JTB

- ・ 「2050年ネイチャーポジティブ」を目標に掲げ、観光業界の責任を解説。
- ・ 環境配慮型ツアーや宿泊施設、外来種駆除プログラム、観光客への教育などを具体例として紹介。

(4) 八重山農林高校「スーパーガヤくん」

- ・ シトロネラグラスを活用した蚊よけ商品の研究。
- ・ 苗の配布、赤土流出防止効果、ガヤ液の抽出実験などを実施。
- ・ 地域資源を活かした持続可能な生活・商品化の可能性を提示。

(5) 八重山商工高校「スマムニで紡ぐ文化と観光」

- ・ 島言葉「スマムニ」の価値を観光と結びつける研究。
- ・ POPや体験型仕掛けで「言葉を使いたくなる仕組み」を提案。
- ・ 郷土への誇りを再認識する「シビックプライド」につながる発表。

5. 所感

- ・ 経済効果は「売上」ではなく「地域に残る価値」で測るべき。
- ・ 自然の価値は失われてからでは測れず、「今あるうちに見える化」が不可欠。
- ・ 石西礁湖のサンゴ礁や生物多様性を守る取り組みを、町政の重点課題として推進する必要がある。
- ・ 花谷氏の「コラコラ認証」は、竹富町における自然資本の価値化と観光の持続可能性を考える上で大変参考になった。
- ・ 若い世代の研究発表は大変意義深く、竹富の小中学生にも触れてもらいたいと感じた。

6. 参考スライド (抜粋)

[illegible]

最後に

- ・ 地方創生施策において、土地利用を変えて得られる付加価値や環境改善の便益を会計的費用から引いて残ったものが、皆さんが失う自然の価値よりかはるかに大きいと思うのなら、自信をもって進みましょう
- ・ ただし、皆さんは本当に自然の価値をご存じでしょうか？
- ・ 適切な判断をするためには、皆さんを取り巻く自然の豊かさもひとつとし、知る必要があるかもしれません

39

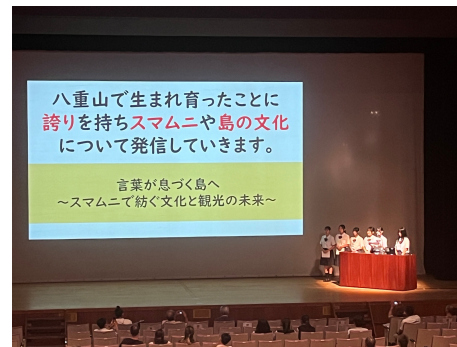
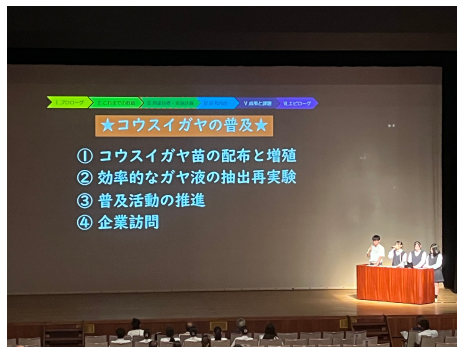
経済効果と自然の価値：観光モデルの分かれ道

■ 外資主導モデル（大規模開発） ・利益は中央・海外へ流出 ・自然・景観の破壊リスク高 ・雇用は流動的、非正規中心 ・消費は館内で完結、地域波及は限定 ▶ 経済効果は短期的に大きいが、自然・文化の消耗と引き換え	■ 地域主導モデル（小規模開発） ・利益は地域に再投資 ・自然と共生した設計・運営 ・雇用は定着、技術継承型 ・消費が地域全体に循環 ▶ 守るという選択が、長期的には最も高い経済価値を生む
---	--



ローカル認証の普及によって期待できること

- ・サンゴ礁をはじめとする環境再生
- ・ザル経済の解消→地域経済の活性化
- ・暮らし方の転換によるゴミの削減
- ・豊かさの指標の転換
- ・人間関係の再構築(生産者と消費者や、事業者同士の関係性)
- ・いのちを中心とした経済循環の構築



政務活動報告書

生成AI活用による議会業務支援・情報整理

期間：令和7年7月～9月

作成者：上勢頭 巧

1. 活用目的

議会活動の中で扱う資料や議事録は膨大であり、効率的に整理・比較・要約するための補助ツールとして、生成AI「ChatGPT（有料版）」を導入した。

無料版では利用できないファイル読み込み機能やウェブ検索機能を活用し、過去の答弁整理、関連計画の照合、他自治体の取組調査などを中心に、秘書的なサポート役として位置づけている。

2. 活用内容

(1) 議事録・計画の整理と要約

- ・ 過去の一般質問や答弁記録をAIに読み込ませ、テーマ別・課別に整理。重複質問や継続課題を抽出し、次回質問設計の参考にした。
- ・ 「訪問税条例」「空き家対策計画」「防災計画」などの主要文書を読み込み、目的・施策・KPI等を自動分類。複数計画間の整合性を確認する際の下地資料として活用。
- ・ 各島の地域課題（住宅、交通、防災）に関して、過去3年分の議事録と答弁内容をまとめ、「町としての対応経過」一覧を作成。

(2) 他自治体の施策・制度の調査支援

- ・ ChatGPTの検索機能を通じて、空き家活用・訪問税・地域交通DXなどの全国事例を調査。
- ・ 特に「海士町（島根県）の移住促進策」「与論町の宿泊税制度」「周南市の行政DX」などを比較し、竹富町で応用可能な事例を整理。

- ・ 各事例の根拠条例・補助制度・KPIを抽出し、町の実情に即した改善提案の参考にした。

(3) 質問構成・論点整理の支援

- ・ 自身が作成した質問文や要旨をもとに、論点の流れ・語句の重複・聞き方の順序をチェック。
- ・ 表現を修正する際にも、ChatGPTを「構成確認の相手」として使用。文案はあくまで議員本人が執筆し、AIは整理・検証・提案の補助にとどめている。
- ・ 想定答弁を事前に整理することで、再質問や追及すべき点をより明確にでき、限られた発言時間内での質問精度が向上した。

(4) 情報共有と広報作業の効率化

- ・ 議会だよりやSNS発信に用いる資料を整える際、AIで要約・見出し案の候補整理を行い、文体や構成の統一を補助。
- ・ また、政務活動報告・議案整理・参考資料などをテーマ別に分類し、今後の議会アーカイブ構築に向けた基礎整理を進めた。

3. 効果と今後の展望

- ・ ChatGPTを「秘書的アシスタント」として活用することで、議会資料の検索・整理時間を大幅に削減。
- ・ 過去の議論や政策の流れを時系列で把握でき、継続的課題へのフォローアップが容易になった。
- ・ 他自治体との比較検討が効率化し、町独自の政策立案力の強化にもつながっている。今後は、こうした生成AIの利活用を議会全体の業務改善にも広げ、DX時代の議会運営のモデルケースとして整理していきたい。

添付資料

- ・ ChatGPT Plus（有料版）利用明細（Apple領収書）